

2017年
(平成29年)
2月発行

第13号

宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

2016(平成28)年度 人権・同和問題啓発作品入賞者のお知らせ

【ポスターの部】

○ 最優秀賞(3点)



廣岡 駿人 さん(山手台小3年)



栗宗 希光 さん(安倉小6年)



西村 千笑 さん(高司中3年)

○ 優秀賞(6点)

大嶋 琉生 さん(宝塚小3年)・吉井 梓 さん(丸橋小1年)・下出 歩実 さん(長尾小6年)

大瀬戸 誠 さん(雲雀丘学園小6年)・鈴木 阜志朗 さん(長尾中2年)・衣川 凜香 さん(高司中3年)

【標語の部】

○ 最優秀賞(4点)

安岡 蒼生 さん(末成小2年)

『だいじょうぶ!ピンチのときには ぼくがいる』

池田 裕一 さん(宝塚第一小6年)

『笑顔でも 心の中ではSOS 気づいてあげよう 相手の心』

常見 奈由 さん(宝塚中2年)

『差し出して こぼしてではなく 手のひらを』

花岡 一義 さん(市民)

『人権の 鏡にうつる わが心』

○ 優秀賞(8点)

松坂 潤波 さん(高司小2年)・島崎 結芽 さん(高司小3年)・椋 龍之介 さん(中山桜台小6年)

佐能 茉麻 さん(山手台小6年)・山岡 航輔 さん(宝塚中2年)・玉野 周 さん(宝塚中3年)

今里 康一 さん(市民)・橋 啓子 さん(市民)

【作文の部】

○ 最優秀賞(3点)

中川 陸聡 さん(末広小3年)

『気持ちのよいあいさつ』

富田 大翔 さん(安倉北小5年)

『みんなのいいところ、見つけた』

服部 日向 さん(宝塚第一中3年)

『言葉の重さ』

○ 優秀賞(8点)

堀川 小百合 さん(中山桜台小3年)・小堀 涼太 さん(美座小3年)・新城 りるみ さん(末成小5年)

山邨 直希 さん(美座小6年)・ハドソン 大加 さん(宝塚中1年)・平川 葵 さん(御殿山中2年)

辻川 詩乃 さん(雲雀丘学園高1年)・中村 美智代 さん(市民)

【写真の部】

○ 優秀賞(1点) 山口 卓 さん(市民)

『八十歳の手習い』

～中国残留邦人の日本語教室にて～



※ 最優秀賞・優秀賞受賞者のみを掲載しています。

※ 佳作を含めた全受賞者は、下記の宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp> 【ページID: 1001134】

ホーム > 教育・子ども・人権 > 人権・平和 > 人権 > 宝塚市人権・同和問題啓発入賞作品

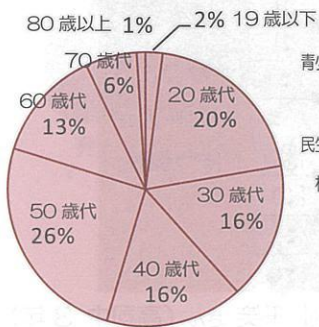
第 6 回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」



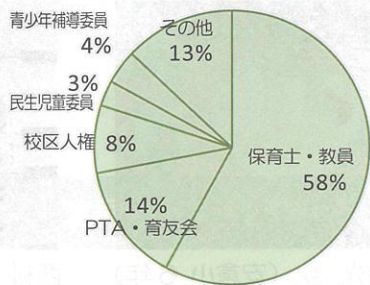
オカリナを演奏する徐香淑さん

1月21日(土)に開催された研究大会には、244名の参加がありました。徐香淑さんによるオカリナと柳原由佳さんによるピアノ伴奏の美しい音色に始まり、その後8つの分科会に分かれ、報告者から貴重な報告を聞きました。どの分科会も参加者による熱心な話し合いと交流がおこなわれ、多くの成果を得ることができました。参加者のアンケート結果と感想を紹介します。【アンケート回答者：165名】

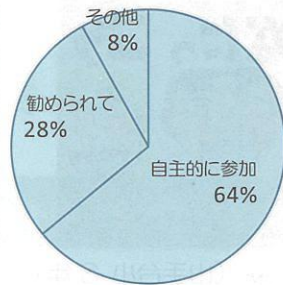
参加者の年齢構成は？



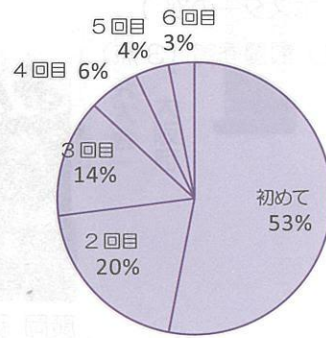
参加者の所属構成は？



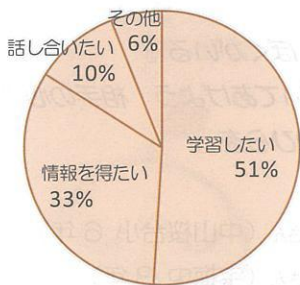
参加については？



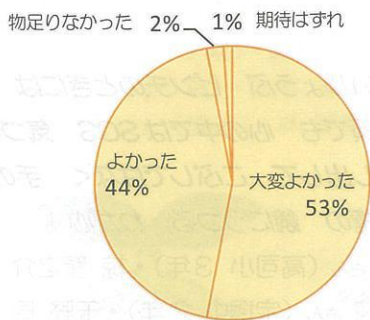
何回目の参加ですか？



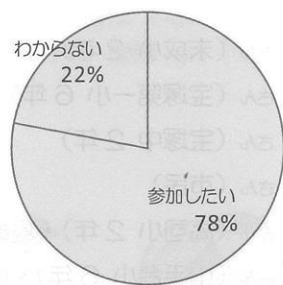
参加の目的は？



分科会の内容は？



来年も参加しますか？



分科会の様子

◆ 分科会別参加者の感想 (アンケートから抜粋) ◆

①「子どもの人権について考える」より
子どもの不登校で悩んでいる当事者でもあるため、今日のお話はとても参考になりました。一緒に考える機会は大事だと思います。(40歳代)

②「部落差別について考える」より
なにげない日常の中では、なかなか分からない差別が部落差別であり、改めて難しい問題であることを強く感じました。(40歳代)

③「障がいのある人との共生」より
最初の声かけは勇気が必要かも分かりません。でも、その一歩が踏み出すことができれば次のつながりが楽しいものになると思います。(60歳代)

④「在日外国人について考える」より
オカリナの演奏が心にしみました。様々な立場の方からの意見を伺うことで、共通の考え、違う考えがあることに気がきました。(50歳代)

⑤「働くということ・学ぶということ」より
報告者の方のしっかりとした考え方に感心しました。人との出会いの大切さも感じました。日常の仕事をふり返ってみたいと思います。(50歳代)

⑥「さまざまな性について考える」より
今回のつどいに参加して、その人らしさが大切だと思いました。そこには性別は関係ないと改めて感じることができました。(20歳代)

⑦「中高生と考えるスマホ時代の人権問題」より
これからスマホを使って生きていく子どもたちに何を教えていけばよいのか、どう育てていけばよいのかを考えるよい機会になりました。(30歳代)

⑧「学校園所における人権教育(保育)の今とこれから」より
色々な方と交流できてよかったです。主に人権同和参観の持ち方は保護者の方からとても役に立つご意見をいただきありがたかったです。(60歳代)

連載 夢と希望はいついつ

12 思春期

前号は反抗期の十か条を書きましたが、今回は思春期です。初期の思春期は小学5年生から中学3年生の時期だと言われます。誰にでも経験のある多感な時期です。この時期を子どもたち自身も家族の人たちも春を待ちわびるような素敵な日々にしてきたいものですね。

こんな家庭での十か条はいかがでしょう。

- ① 本をたくさん読ませましょう。
- ② 本は人生の指針を与えてくれます。
- ③ 友だちは家族の居るときに呼べる雰囲気。
- ④ 家族ぐるみでの付き合いが精神的安定を促します。
- ⑤ 言葉だけでなく、親の後ろ姿を見せましょう。
- ⑥ 仕事をしている姿は真剣さを教えます。
- ⑦ 問題行動が起これば家族で話し合ひましょう。
- ⑧ どこに不満があるのかを聞いてみましょう。
- ⑨ 人や店に迷惑をかけたなら一緒に謝罪に行きましょう。
- ⑩ 親が頭を下げ謝る姿は言葉に勝ります。
- ⑪ 不登校だと気づいたら、すぐに学校に連絡しましょう。
- ⑫ もし長引いても慌てず、本人の意志を大切に。
- ⑬ いじめにあっていたら「私が守り抜く」覚悟を。
- ⑭ 負けるのではなく、いじめから遠ざけましょう。
- ⑮ 気をつけたいキーワードは「お金・服装・スマホ」
- ⑯ 中学時代は「友だち・部活・会話・勉強」を大切に。
- ⑰ 大切なのは人に勝つことより、共にあることです。
- ⑱ 青春は共に喜び、悲しみ、笑い、悩む時代です。
- ⑳ 夢と希望をいっぱい持たせましょう。
- ㉑ そつすれば自分の目標が見つげ出せます。

【和久】

2016(平成28)年度 人権・同和問題啓発作品【作文の部】 入賞作品の紹介

【最優秀作文】

気持ちのよいあいさつ

宝塚市立末広小学校 三年

中川 陸聡

一年生のある日、
「今日、買い物帰りの道、りくと同じクラスのAくんに出会ったよ。Aくんのあいさつはいつもさわやかで気持ちよいわ。」
とお母さんが言いました。

「え？ほくだって友だちのお母さんに会ったら、あいさつしてるけど・・・。」
オープンスクールの休み時間、Aくんといしゃべりながらろう下を歩いていると、友だちのお父さんやお母さんに次々に会いました。Aくんは、大きな声で、笑顔で

「こんにちはー」
とあいさつしていました。ほくもあいさつしたけど、Aくんみたいに元気よく言うことはできませんでした。それに、はずかしくて、相手の顔を見ないまま、あいさつしてしまいました。

家に帰って、お母さんにこのことを話しました。お母さんは、
「すくくいいことに気がついたね。」
と喜んでくれました。そして、
「りくとも近所や知り合いの人にあいさつできるよになったけど、次は、どうすれば、相手が気持ちよくかんじるあいさつになるか考えてみたらい。」
と言いました。

一年生のころ、ほくは友だちや学校の先生にあいさつすることができたけど、友だちのおうちの人も近所の人には頭を下げるだけでした。二年生になって、友だちのおうちの人や近所の人にもあいさつができるようになりました。でも、小さな声でポソッと聞いていたので、相手に気がついてもらえないこともありました。同じあいさつをしても、言い方によって、された人の気持ちはちがうと思います。下をむいたまま、ぶっきらぼうに言ったら、相手がいやな気持ちになったり、心配したりすることだってあると思います。にっこりわらって、相手の顔を見て、はっきりとあいさつをすると相手は、気持ちよく、うれしくなると思います。

三年生のほくのめあては「元気に気持ちよくあいさつをする」ことです。一学期が終わっての自分での振り返りは、「あいさつをするタイミングはつきりといことがむずかしいけど、二年生の時より、相手の人も笑顔であいさつを返してくれるようになった。」というものです。二学期は、もっと自分からはっきりとした声であいさつができるようにしたいです。

二年生の三学期が終わって、Aくんは東京に転校してしまいました。新しい学校で、知らない人ばかりの所にひっこしするのはとてもドキドキするし、不安だらけだと思えます。でも、Aくんなら大丈夫！Aくんのあいさつなら、すぐに友だちも出来るし、地いきの人とかにも見まもってもらえると思います。Aくんの気持ちのよいあいさつは、Aくんと新しい学校の友だちや地いきの人をつなぐと思います。

ほくもAくんにまけないように、気持ちのよいあいさつが出来るように心がけようと思えます。

【原文のまま】

全国人権・同和教育研究大会

昨年の11月26日(土)～27日(日)に、大阪府内の各所で「第68回全国人権・同和教育研究大会」が開催されました。この大会は当初、熊本県熊本市で開催される予定でしたが、4月14日に発生した熊本地震の影響で、開催地を変更して行われました。開会全体会はなく、特別分科会を含む22分科会のみでの大会ではありませんでしたが、全国から7千人を超える参加者がありました。また、宝同協からは、二日間延べ31人の参加がありました。

この大会には、兵庫県の代表として、宝同協校区人権啓発部から小浜小学校区人権啓発推進委員会が、7月の阪同教研究大会と10月の兵人教中央大会での発表を経て、昨年度に学習活動として「私たちの生活(くらし)と憲法」をテーマに実施した委員学習会について発表しました。小浜小学校区人権では、日々の生活を通して、身近な人権問題に気づく参加型体験学習会を開催しています。今回の発表を通じて、「小浜小学校区人権では毎年多くのPTA役員や学校・地域が関わり連携がとれた環境であり、この関係を保ちながらこれからも多くの人権・同和に対する問題を自分のこととして感じる感覚を育てていく活動にしていきたい」と話しました。

次回の開催は、島根県松江市と出雲市で12月2日(土)～3日(日)に行われます。



発表する谷添美也子さん

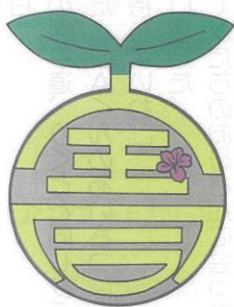
宝同協シンボルマーク&マスコットキャラクターが決定!!

昨年10月～12月まで募集しました、「宝同協シンボルマーク&マスコットキャラクター」の優秀作品が下記のとおり決まりました。1月21日(土)に行われた「人権交流学びのつどい」の全体会で最優秀賞・優秀賞の方の表彰がありました。ご応募ありがとうございました。

- 最優秀賞(2点) 今関 香 さん(10歳)・阪本 尚美 さん(成人)
- 優秀賞(3点) 林 優羽 さん(10歳)・綿村 碧 さん(18歳)・植松 やよい さん(成人)
- 佳作(5点) 林 美羽 さん(6歳)・辻本 華 さん(7歳)・小林 春陽 さん(10歳)
先崎 有里 さん(成人)・林 美香 さん(成人)



今関 香 さん



阪本 尚美 さん



林 優羽 さん



綿村 碧 さん



植松 やよい さん

名前は、「ハーとん」
体はふわふわ。
おなかのハートはポスト。
頭のハートはアンテナ。
青になれば悲しい気持ち。
赤になればうれしい気持ち。

丸は地球に見立てて世界中、
宝塚が幸せであってほしい
という願い。芽から宝塚、世
界と育んでほしい。
“宝”の文字の花は、市花の
「スミレ」

～ 2017(平成29)年度の主な開催日程 ～

- ◇ 宝同協定期総会
5月18日(木) ソリオホール
- ◇ 阪同教研究大会
7月29日(土) 尼崎市立浜田小・大庄北中
- ◇ 兵人教中央大会
10月1日(日) 兵庫県立加古川南高等学校
- ◇ 全同教研究大会
12月2日(土)～3日(日) 島根県松江市・出雲市

宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子(編集委員長)・鈴木 節男・梅田 美佐子
赤井 博和・木山 達雄・中山 琢也・池澤 径子
安達 みづほ・大塚 亜紀・和久 有彦・山本 悠

◇ 編集後記 ◇

人権・同和問題啓発作品は、今年度も素晴らしい力作ばかりでした。また、初めて募集したシンボルマーク&マスコットキャラクターにも心温まる作品が集まりました。これから宝同協事業の様々な場面で活用していきたいと思えます。

「人権交流学びのつどい」は今回から1つの分科会が加わり、8つの分科会で開催されました。これからも多くの参加者が集い、思いを語り合う研究大会にしていきたいと思えます。